

スポット

- ・新年あいさつ
- ・あかつき日帰り旅行
- ・W.J国際セミナー
- ・新人紹介
- ・インフォメーション

あかつき



第84号 2023年1月31日発行

発行／編集 社会福祉法人 あかつきコロニー

〒208-0023 東京都武蔵村山市伊奈平 1-64-1

☎ 042-560-7840

<http://www.akatuki.or.jp> Email:soumu@akatuki.or.jp

昭和記念公園 「明日の空へ」 さくら 奥山 茂



浅草・上野物語

皆様あけましておめでとうござ
います。相変わらずコロナ収束の
兆しは見られませんが、規制緩和
により徐々に社会も流動しつつあ
ります。海外からの旅行者も受け
入れ、観光地も少しずつではあり
ますが賑わいを見せてきていま
す。皆様は初詣には行かれたでし
ょうか。私が初詣と聞いて思い浮
かぶのは東京屈指の観光地である
浅草です。そこで今回は私が生ま
れ育った浅草、そして上野につい
て触れたいと思います。私の生ま
れた年は第二次世界大戦終戦の年
で、米軍からの空襲が激しさを増
していた時期でした。東京大空襲
で浅草一帯も焼け野原になりました。

これよりもずっと以前の明治時
代、浅草に凌霄閣（通称浅草十二
階）という眺望塔が建てられまし
た。設計者は、イギリス人のバル
トンという人物で、八角形10階建
でレンガ造りの頂部に木造2階建
という構造で全高67メートルと当

理事長 鈴木賢一

時の建築では最も高く、日本初の
電動式エレベーターが設置された
ことで評判となりました。しかし
残念ながら大正12年の関東大震災
で倒壊してしまいます。今ではそ
の跡地に建てられたビル側面に描
かれた錦絵でその姿を確認するこ
とができます。次に都内最古の寺
院にして浅草のシンボル、浅草寺
です。628年に聖観世音菩薩を
安置したのがその始まりといわ
れ、正月の初詣に始まり節分会や
羽子板市など江戸時代から代々受
け継がれてきた年中行事には今も
多くの人が訪れます。

さて、その浅草には4つの浅草
駅があります。そのうち3つは浅
草寺の近くにあり、「観音様」が
人々を集めてきた歴史をしのばせ
ます。最初の地下鉄は昭和2年12
月30日、東洋初の地下鉄として浅
草―上野間2.2キロが開業しま
した。昭和4年に設けられた浅草
駅の2つの地下鉄出入口のデザイ
ンは当時地下鉄を運営した東京地
下鉄道が公募しました。地下鉄ビ
ル（浅草雷門ビル）側の出入口口

は、当時アールドコ風の装飾でし
た。一方、我妻橋側の出入口は
寺院風様式で建設当時の姿のまま
に今でも残っています。因みにこ
の時走った地下鉄車両10001号
車は、そのままの姿で江戸川区の
地下鉄博物館に展示されています。

その後、昭和6年に東武鉄
道、35年に都営地下鉄が浅草荷役
を設け、時代が変わった平成17年
につくばエクスプレスの浅草駅
が、かつての浅草6区に誕生しま
した。そしてスカイツリーが平成
24年2月に完成しました。春には
満開の桜並木と共に墨堤に、また
夏には隅田川に浮き上がる花火と
共に、江戸の風情が醸し出す下町
情緒と超近代技術の粋が融合し息
をのむような美しさを見せてくれ
ます。高さ634メートルの高さ
からの眺望は、遙か南に箱根、富
士山から東京湾一帯、東は房総、
西には秩父の山並み、さらに北に
は筑波山と日光の山々まで見渡せ
て、四季折々に訪れる人々の目を
楽ませていきます。

私のもう一つの散歩道が浅草の
隣りの上野です。上野の歴史は古
く、幕末、旧幕府軍の最後の砦と
なったのが上野宝永寺です。新政
府軍の猛攻によって寺は焼け落
ち、その跡地には上野恩賜公園が
整備されました。そこには美術館

や博物館、動物園が設立され、東
京屈指の芸術と文化の地となつて
います。上野が京都に似せて作ら
れているという事は意外と知られ
ていません。例えば、不忍池は琵琶
湖を、清水観音堂は清水寺を模
しています。

この上野と京都の関係について
たまたま見たテレビで非常に興味
深い話を聞きました。上野にある
寛永寺というお寺は、寛永2年に
慈眼大師天海大僧正によって創建
されました。徳川家康、秀忠、家
光公の三代にわたる將軍の帰依を
受けた天海大僧正は徳川幕府の安
泰と万民の平安を祈願するため、
江戸城の鬼門にあたる上野の大地
に寛永寺を建立しました。これは
平安の昔に開かれた比叡山延暦寺
が、京都御所の鬼門に位置し、朝
廷の安穩を祈る鎮護国家の道場であ
ったことに倣ったもので山号は
東の比叡山という意味で東叡山と
されました。さらに延暦寺同様、
創建時の元号を用いる事を許可さ
れ寛永寺と命名されました。寛永
寺は天台宗の別格大本山のお寺で
すが、幕末の上野戦争により大部
分が焼失され上野恩賜公園となり
ました。ここもまた関東大震災や
太平洋戦争で被害を受けました
が、今日のように復興しました。

こうして自分の生まれ育った地

の歴史をたどると「今」というこ
の時は過去からの脈々とした連な
りの先にあることを実感します。
昨年大変な年でした。ロシアと
ウクライナの戦争、長引くコロナ
ウイルス感染等暗い話ばかりでし
たが、長い歴史の中で興亡衰退を
繰り返しながらあることに思いを馳
せた時、今のこの困難な状況も乗
り超えていけると感じることで
きます。今年が皆様にとつて良い
年となりますよう祈念いたしま
す。





あけましておめでとございます。
 昨年も新型コロナウイルスの感染予防に終始した一年になってしまいい、丸3年コロナ禍での事業運営が続いています。依然予断が許されない状況ですが、日本の経済・社会活動は既に緩和策により、正常化に向けた取り組みが行われており、あかつきコロナでも昨年10月には日帰り旅行を3年ぶりに実施し、外に出かける行事を行いました。参加した利用者からも「楽しかった」「また行きたい」という声を頂き、実施できて良かったと思ふ反面、利用期限が定められているサービスの利用者にとっては最初で最後の参加者もあり、素直に喜べない気持ちもありました。

また昨年はロシアとウクライナで戦争が勃発し、世界に暗い影を落としています。多くの命が失われていくニュースを見るたびに、人類の愚かさを感じざるをえない気持ちになります。

円安の影響も相まって物価の高騰など私たちの生活環境に大きく影響しており、施設運営面でも光熱費や燃料費の高騰など、大きな影響が出ているので、早く平穏な日々に戻ってほしいと願うばかりです。

この様な背景のなか、あかつきコロナの自分でもある就労支援事業も前々年度より前年度、前年度より今年度と少しずつですが回復している状況です。

作業により一長一短はありますが、新たな仕事の開拓や、受注や原材料の確保などでも、担当者それぞれが努力と工夫を重ねていただき、一定の成果が得られていると思います。

皆様に感謝を述べるとともに、今年も気を引き締めて進んでいきたいと思ひます。
 次に今年度の活動について2点報告をいたします。
 まずはBCPマニュアルについて取り組みです。
 令和6年度より自然災害発生時と感染症発生時の事業継続計

画（BCPマニュアル）の作成が義務付けられていますが、あかつきコロナでは令和3年度後半からプロジェクトを立ち上げ、BCPマニュアルの作成に取り組んでいます。プロジェクトを自然災害と感染症の2チームに分け進めています。ほぼ完成に近づいており、今年度内には完成する予定です。あかつきコロナでは平成26年4月に震災発生時のBCPマニュアルを作成していましたが、こちらは震災発生時の対応マニュアルに変更し、今後も活用していきます。

2点目の報告は新たな支援システムの導入についてです。
 国のIT導入補助金を得て、昨年9月にNDソフト社のほぼの支援システムを導入し、現在立上げの途上にあります。従来は記録関係はアクセスを使用し、個別支援計画はエクセルにて作成、請求関係は国保連の簡易入力システムで対応してきましたが、支援システムの導入で、日々の各種記録から個別支援計画、そして請求管理まで一元管理で行えるようになります。

新たなシステムを覚えていくことは大変ですが、課題であった各様式の統一化が図られ、データのリンクは効率化と情報の共有化が向上できます。また請求管理は今まで総務部で行ってききましたが、これを各職員が行っていく事で、制度の理解が深められます。

以上あげた事は、職員個々の専門性の向上に繋がっていくことができ、ひいては利用者支援の向上にも繋がっていくこととなり、そこが支援システムの目標でもあります。

10月以降講習が行われていて、各職員、操作の訓練中のところでありますが、今年度中には各施設でシステムを立上げ、稼働に移していく予定です。

最後に就労移行支援・就労定着支援セルフあかつきの今年度末での廃止について触れたいと思います。

セルフあかつきは平成9年7月に定員20名で身体障害者通所授産施設として開設し、平成18年10月に就労移行支援に新体系移行を行いました。平成30年10月から就労定着支援を追加する形で開始し現在に至っています。25年の長きに渡り通所利用の障がいがある方の支援を行い、就労移行支援施設に変わってからは、一般就職の支援に尽力し、多くの就職者を輩出して

きました。
 こ数年在籍利用者数の減少が進み、施設運営の継続が大変厳しい状況になっていること、今後も大幅な利用者の増員が見込めないことが廃止の理由です。

現在は5名の障がいのある方が利用されていますが、残りの期間で就職支援を継続し、一人でも多くの方が雇用に結びつけられるよう努力していく所存です。

仮に就職が出来なかった方に対してもしっかり受け皿を確保し、移行先を決めていきたいと考えています。

一方、就職後の支援を行う就労定着支援は、同一敷地にある就労継続支援B型スペース・まどかに就労定着支援を新設し、同様の支援を継続していく予定です。

あかつきコロナにとって、就労移行支援は障がいがある方の自立支援を行っていくうえで重要度の高いサービスであり、残念ながら今回廃止の選択をしましたが、将来状況が変わればまた復活させていきたいと考えています。

本年も皆様のご指導、ご協力のもと障害者の自立支援、就労支援に尽力してまいりますのでよろしく願ひいたします。

令和6年度より自然災害発生時と感染症発生時の事業継続計

画、そして請求管理まで一元管理で行えるようになります。

新たなシステムを覚えていくことは大変ですが、課題であった各様式の統一化が図られ、データのリンクは効率化と情報の共有化が向上できます。また請求管理は今まで総務部で行ってききましたが、これを各職員が行っていく事で、制度の理解が深められます。

以上あげた事は、職員個々の専門性の向上に繋がっていくことができ、ひいては利用者支援の向上にも繋がっていくこととなり、そこが支援システムの目標でもあります。

3年振り!! 日帰り旅行催行

新型コロナウイルスの影響で暫く中止していた日帰り旅行が実に3年振りに帰ってきました。

4つの事業所で実施された日帰り旅行。

それぞれ楽しんできた様子についてご覧ください。

10月12日

瑞穂町心身障害者（児） 福祉センター あゆみ

令和4年度日帰り旅行

令和4年10月12日、日帰り旅行を実施しました。

地域活動支援センターの利用者は、ご家族での外出がなかなか気軽に出れない環境の方が多く、少しでも旅行らしい所内旅行を、出来れば普段できない経験が出来ればと考え、行先を河口湖に決定。計画段階では安全面・天気・時間・食事場所と不安な点はありましたが、今回の旅行から旅行会社の方に入ってもらい、ほぼクリアできました。

観光船は甲板・半地下の船内・二階と3つのエリアに分かれていて甲板と船内の間にはリフトがあるのでスムーズに行き来ができます。旅行当日は曇り空で肌寒く、風にあたり続けるとなかなか寒いので室内にすぐ入れるのはとても助かりました。船内には自由に使ってよい肩衣と軍配があり、簡単な武将コスプレをして遊べました。二階へはリフトがないので車椅子の方は上がりず、当日は曇っていたことと風がとても強くあたるので寒く、上がった利用者さんもすぐに降りてきたので特筆することはありません。強いて言えば見晴らしがとても良かったです。天気が良ければ富士山が綺麗に見えたのでしょうか。

昼食は山梨県の代表的な郷土料理ほうとう、名産のワインを使ったレンコンの赤ワイン煮、河口湖といえばのわかさぎフライと山梨県の郷土食豊かな食事を選びました。普段食べないものも多く「みんな食べられるのか？

ほとんど食べられなかったらどうしようか」と不安もありましたが、みなさんほぼ完食でいらぬ心配でした。

お土産は名産品から富士山を模ったお菓子、ワインなど様々なものがあり、じっくり選ぶ方、全く興味を示さない方、お土産は早々に選び自分が欲しいものをじっくり選ぶ方といういろいろで、購入したのも様々でした。

観光船に乗って少し非日常の体験をし、郷土料理を食べ、お土産に名産品を買う。

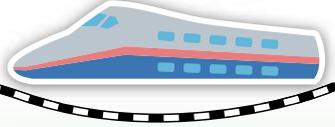
時間に制限がある中でそれなりに旅行らしい旅行になり、今回の所内旅行の目的は達成できたと感じています。

(押川 遊)



10
月 14日

あかつき授産所



日帰りバス旅行

昨秋、令和4年10月14日（金）、3年ぶりの日帰りバス旅行に参加しました。デラックスバス2台に分乗しての出発となりました。朝は霧雨が降っていましたが、最初の目的地の《大宮 鉄道博物館》に着く頃には雨も上がり、雲の隙間から少し薄日が差してきました。

当日は「鉄道の日」に当たり、日本全国各地で様々なイベントがその前後の期間に亘り開催されていたようで、鉄道博物館も混雑が予想されましたが、それほどでもありませんでした。

館内では見学時間が短いこともあって、あまりあちこち見て回ることができませんでした。そのような中、特に印象に残った場所が2か所ほどあります。1つ目は、先端部分がいかにも現代風といった形状をした車両2体が横に並んだ、集合写真を撮った場所です。2つ目は、正面入口からその撮影場所への途中、通路脇に展示されていた古い年代を感じさせる車両が、何か郷愁を感じさせ、心に残っています。自分は鉄道にそれほど興味はなかったのですが、個人的に再び今度はゆっくり1日かけて見学したいと思いました。

今回の旅行のもう一つの楽しみが「川越 初かり亭」での昼食でした。いも会席ということで、さつまいもの入ったご飯が特においしかったです。



帰途、バスの添乗員さんが川越の古い街並みを丁寧に説明してくださり、加えて、翌日と翌々日に控えた「川越祭り」の準備の様子も車窓から眺めることができ、非常によかったです。

コロナ禍のため、令和2年と令和3年は旅行は中止になり、代替えとして所内でのレクリエーションとなりましたが、旅行のほうがか久しぶりということもあって所内レクより、よい気分転換になり、楽しむことができました。

(印刷事業部 金子 健一)

10
月 14日セルフあかつき
スペース・まどか

新江ノ島水族館日帰り旅行

10月14日（金）にスペース・まどか18名・職員8名 セルフ4名・職員4名 新江ノ島水族館日帰り旅行に行ってきました。

悪天候による渋滞の影響で大幅に遅れての到着になってしまったが、時間をずらし予定通りの内容で行いました。イルカショーでは園児の遠足が多く立ち見となってしまったが、イルカの色々なパフォーマンスで盛り上がり、特にジャンプのシーンでは驚きと歓声が上がっていた。各班での自由行動ではそれぞれが好きな場所を見て楽しんでいました。もう一つの楽しみとして最後にお土産屋さんでの買い物、即決する人、悩みに悩んで買っている人など皆さんそれぞれに思い出の品や、お菓子を買っていました。そして少し遅くなってしまった昼食へと向かう、今回は鎌倉わかみやです。海鮮を中心とし品数も多く白米はお替り自由との事でお腹が減った皆様には



美味しく満足したとの声を多くもらいました。さて帰路につきますが、この時ドライバーさんが機転を利かし予定とは違うインターから帰る事に、その甲斐もあり予定通り道の駅へ寄る事も出来ました。その後、無事にあかつきへ到着。新型コロナウイルスの影響ですと行けていなかった日帰り旅行とあって、皆さん楽しんで頂けたのは本当に良かったと思います。

(スペース・まどか 橋本 達典)



「優生保護法問題の

全面解決を目指す

10/25全国集会」に

行ってきました

瑞穂町障害者

就労支援センター

センター長 西出 英高

令和4年10月25日(火)、日比谷公園大音楽堂にて全国集会が行われ、私西出が参加させていただきました。今回の集会には、屋外でまた雨がちらついていたにもかかわらず、会場には1,300人が集まりオンラインでは1,200人が参加されて、国に真相究明、謝罪、補償を求める会を開催しました。

優生保護法問題とは、この優生思想を持った法律が1948年から1996年まで施工されており、「優生上の見地から不良な子孫の出生を防止するとともに」といった名目で障害をもつ方に、国が強制的に中絶や不妊手術を行ったという経緯がありました。わかっているだけでも16,000人の方々が悪影響を受けたそうです。

今回の集会には、全国から国賠訴訟の原告や家族、弁護士団

支援者の方々が登壇し訴えていました。また中には県の規則に反して優生手術記録を焼却処分し、手術実態の調査を求める市民団体の要望に応じなかった元県知事の方も登壇し謝罪されておりました。

この集会に参加するにあたり改めて「優生保護法」について学びなおしましたが、この法案が出来たのがなんと戦後からであり、1996年に「母体保護法」へと改正されますが「い最近までこの法律があった事に衝撃を覚えました。

2018年になり、やっと国に対して損害賠償請求訴訟を起こす動きが始まりました。しかしながら、年齢の事もあり原告31人のうち既に5人が亡くなられているとの事です。手術から何十年もたってしまったので、証拠となる資料等を見つけないのは困難を極める事になるので、その証拠が出てきたケースもあったようです。

優生保護法は無くなりましたが、津久井やまゆり園での殺傷事件等、優生思想というのはいまだ根強く残っていると感じます。私はこの集会に参加させていただき、今回の被害者の方々

だけの問題ではなくこれは障害のある方全体の問題でもあり、更には私達の身近にもあり得る問題なのかもしれない、と深く考える機会になりました。



WJ国際セミナーに参加して

瑞穂町福祉作業所さくら

施設長 戸村 仁郎

去る11月15日WJ(ワーカビリティ・ジャパン)主催の「改めて考える！シエルタード・ワークシヨップの役割と展望」の国際セミナーに参加しました。日本は2014年1月に障害者権利条約に批准し、2022年9月に障害者権利委員会(以下、権利委員会)から日本政府に初となる勧告(総括所見)が出されました。権利委員会では、シエルタード・ワークシヨップ(保護された労働施設/日本における就労移行支援や就労継続支援に相当/以下、ワークシヨップ)に消極的な意見が出されてお

り、開かれた労働市場への移行、いわゆる一般企業への移行の促進が求められました。

セミナーでは、日本より先に権利条約に批准し、同じように勧告を受けた「フランス・ドイト」各国の制度面やワークシヨップの役割を日本と比較する機会となりました。制度面の一例を挙げると、日本では所得保障として障害者年金があります。各国ではワークシヨップでの労働に対する保障/補填が定められており、国によって物価等は異なりますが、収入面では日本よりも手厚く先進的であり、生活を送るには十分かという視点で保障が決められており、日本の制度が遅れていることを改めて実感しました。また、セミナーにおける論点として、各国ともに権利委員会からワークシヨップは分離された労働環境と指摘されており、「開かれた労働市場への移行とワークシヨップの段階的な廃止をどのように考えるか」といった議題では、現段階ではワークシヨップの存在は必要であるとの共通意見があり、そこにはワークシヨップは多くの障害者、特に重度の障害を持った方々の働く場として重要な役割を果たしてい

ることが挙げられました。

セミナーを通して感じたこととして、労働や様々な分野においてインクルーシブが促進されることは喜ばしいですが、そこに至る法律や制度は歩みを進める一歩であって、本当の意味で実現するには一人ひとりの心がインクルーシブであることが求められると思います。近年は生産性を重きに捉える風潮が強く、新語にタイパ(タイムパフォーマンス)といった言葉が挙げられる時代です。もちろん労働です。生産性も大切ですが、同時に数字では測れない生産性にも目を向けていく必要があると感じています。皆が少しずつ歩み寄りながらより良い社会を作っていけたらと思います。



11月

12 法人施設外壁劣化部分除去工事
15 法人施設火災避難訓練
16 研修委員会
24 あゆみ地震避難訓練

23 武蔵村山市地域相談支援部会 (藤澤・富田)
25 就労ネットワーク会議 (神山)

27 JD権利条約学習会 (西出)
27 武蔵村山市地域相談支援部会 (遠藤)

12 ジョブコーチ研修 (齋藤 13日迄)

入所・退所

入所

8月 黒崎 智成(セルプ)
9月 才木 和代(さくら)
9月 岡部 伸司(あゆみ)
10月 三森 愛子(授産所)
10月 林 智幸(さくら)
12月 泉澤 啓介(まどか)
12月 宮岡 由雄(あゆみ)

退所

8月 比留間海乙(セルプ)
8月 本多 望(あゆみ)
9月 荒井 歩夏(まどか)
9月 高橋 聡(さくら)
10月 石川 勉(あゆみ)
10月 飯野 那奈(授産所)

12月

8 BCP作成委員会 (感染症対策)
12 虐待防止マネジャー会議
12 さくら所内レク
12 あゆみPCR検査 (14日迄)

12 ゼンコロ月例Zoom会議 (藤澤・富田)
9 ゼンコロスキルアップ研修 (神山・増淵・遠藤)
13 インボイス説明会(松木)
15 インボイス説明会(高橋)

24 ゼンコロ運営委員会 (遠藤)
25 優生保護法全国集会 (西出)
26 精神保健福祉研修(富田)
27 就労ネットワーク会議 (小林・茂木)

12月

3 ジョブコーチ研修 (齋藤 6日迄)
6 ゼンコロ発達障害支援研修 (神山・富田・増淵・細川大・遠藤)

出張・研修

8月

2 メンタルヘルス研修 (永井)

22 就労ネットワーク会議 (西出)

10 地域ささえあい連絡協議会 (大滝)

21 高次脳機能障害者相談支援員連絡会 (西出)

3 人権研修 (加藤)

26 瑞穂町内社福法人連絡会 (戸村)

11 地域連絡会議 (富田)

22 就労ネットワーク会議 (小林・茂木)

5 精神保健福祉研修 (大庭)

10 WJ理事会 (高橋)

羽村特支学校運営協議会 (西出)

10 WJ理事会 (高橋)

地域公共交通会議(戸村)

精神業務連絡会 (藤澤・富田)

*出張・研修にはリモートによる会議も含まれます。

19 精神業務連絡会

高次脳機能障害意見交換会

寄贈

10月14日、ブルーミッシェ様よりお菓子のご寄贈を頂きました。謹んで御礼申し上げます。

12月23日、福祉センターあゆみにおいて、イオンモールむさし村山様よりクリスマスプレゼントのご寄贈を頂きました。謹んで御礼申し上げます。